

ごとう通信

第 223 号

令和元年7月1日

日本の四季という制度はすでに崩壊しているのかもしれない、と思うこともあります。毎年、毎月「異常気象」という言葉を耳にします。「平年並み」の「平年」が何かもすでに分からなくなっていますし。

そして今年も夏が来ました。個人的には寒いよりは暑い方がずっといいのですが、まあ、大変ですね。僕は広島で育っているのに夏に快適なイメージがありませんでした。ご存知の方もいると思いますが、瀬戸内気候の特徴で「凧」があります。夏の夕方、風が全くなくなってしまふのです。学校から帰ってきた夕方、夕日が落ちる前のジトツとした不快

なイメージが今でも残っています。

上京してから割と緑に恵まれた環境で暮らしていたので夏が好きになりました。ところが最

近感じるのは、アスファルトの照り返しとエアコンの排出する熱風。熱中症は危ないからどんだんエアコンをかけましようというのはどこか負のスパイラルに陥っている感じがします。新宿では今でもどこかで高層ビル建築が行われていますが、実は時代に逆行しているのではと思います。エアコンがなければ生きられないなんて変ですよ。

さて、先日、あるお店を見つけました。高級ランドセル専門店。一瞬



「嘘！」と思い見返してしまいました。自分の感覚で言うと、カバン屋さんの一商品。それが専門店とは！シ

ヨーウィンドウにもいくつかの革ランドセルが飾ってありました。当たり前ですが、ランドセルと言えば小学生。彼らはこの高級感がわかっているのかなあ？おじいさん、おばあさんがかわいい孫のために買うのだろうけど。そこでふと思いました。ランドセルを買ってあげるのだったら、ちゃんと革のメインテナンスまで教えてあげればいいのではないかと。しっかりクリームを塗ってあげてピカピカに仕上げるところまで教えてあげれば、愛着もわくし、長持ちもするし、物を大切にすることも教えられるのではないかと。



実は革製品を磨くのがマイブーム。靴やカバン、財布までしっかり磨いていくのが好きになりました。クリームのにおいもそうですが、しっかり磨いた後の光沢ってきれいですよね。ランドセル贈呈の機会がある皆さん、カバン磨きも教えてみてはどうでしょうか。

学生気質

以前から大学生へ講義する機会があったのですが、今年はさらにもう1校増えて5校で講義をすることになりました(年に1回から数回程度)。もう子供世代ですから可愛いといふかなんというか。皆さんが今の学生にどういうイメージを持たれているかはわかりませんが、とにかく丁寧

に育てられている感じがします。僕たちの世代まで絶対にいた破天荒なやつはいま



せん。洋服とか授業態度はともかく、レールは絶対に外れないように育てられている気がします。僕は特別講義的なものが多いので、受講後の感想レポートを書いてもらうことがありますのですが、本当にまじめで賢い感じしかしません。日本の教育界はこういうことを目指してきたのでしょうか。

ただ、無責任な立場で言わせてもらうと、おもしろくないなあと感じます。枠におさまらないような人たち社会を切り開いていくでしょうし。真面目だけで国際社会は乗り切れません。不真面目になれという気はありませんが、せめて学校ででき

ない経験はたくさん積んでほしいですね。

食事動作

僕が主宰する研究会で食事をする時の動作を見る機会が増えました。手の動きが悪くなったような方の食べる動作を専門家の作業療法士と一緒に観察、分析していくのです。これがとても興味深い。車椅子を代えただけで変化したり、スプーンの握りを代えたらスムーズに食べられたり。歯医者としては口に入ってから体の動きに注目するのですが、口に食べ物を入れる動作の重要性を初めて知りました。皆さんも自分が何気に食事をしている動きをちよつと意識してみませんか？